

新火葬場最終候補地の検討経過

市では、平成26年3月に新火葬場の最終候補地を選出し、最終候補地周辺にお住まいの皆様にご説明してまいりましたが、多くのご質問やご意見をいただきました。とりわけ、市が建設地決定後に計画することとしていた施設整備の内容については「具体案がなければ判断できない」とのご意見がございましたので、具体的な整備の想定や積算などの検討作業に多くの時間を要しました。地域の皆様をはじめ、多くの市民の皆様にご心配をおかけしましたが、その検討経過をご報告します。

最終候補地選出の経過

新火葬場建設に伴う予定地の選考については、これまでにご提案・ご推薦いただいた場所などを公表してきましたが、第一次選考として、火葬場の建設には不適切な場所として6つの要件（※下段参照）を掲げ、その要件に該当する場所を除外し、11カ所の候補地に絞り込みました。

次に、11カ所から最終的な候補地を決定するため、新しく建設しようとする火葬場の基本方針を定め、その基本方針に沿った施設を建設するためにふさわしい場所を選出することとしました。

【表1】にある、5つの基本方針に沿った施設を建設する場所としての重要な要素について、14の項目、18の内容にて比較点数化し、その結果をもとに検

討を行いました。

各候補地を比較検討した結果、平成26年3月に【表2】のとおり、評価点数の多い上岡本町7丁目地内スカイパーク一部（西側部分）を選出しました。
※広報たかやま平成26年6月1日号に掲載

説明会等これまでの経過

地域の皆様を対象とした説明会は、第1回目を平成26年5月に3回、第2回目を同年7月に3回と、合計6回開催しました。同年中には、団体の皆様方などからのご要望により、他にも6回の説明会を開催しました。

また、新火葬場に関する要望書を、平成26年6月に上岡本町内会から、9月にはスカイパークを守る会からいただき、6月には上岡本町内会から、7月および翌27年3月にスカイパークを守る会から、質問状をいただいております。回答できるものについては文

【表1】最終候補地選定のための比較項目

基本方針	比較項目	比較内容	配点
故人との最後の別れのセレモニーにふさわしい火葬場	①周辺の環境	静かな場所であるか	3
		自然豊かな場所であるか	3
		不快な臭いがないか	3
	②眺望景観	眺望が開けているか	3
		望む景色が美しいか	3
		③敷地面積の確保	施設整備のための十分な敷地の確保ができるか
近隣住民の生活環境に配慮した火葬場	④景観への影響	施設建設による敷地の景観への影響があるか	3
	⑤周辺の民家からの見通し	周辺の民家から火葬場施設を見通せるか	3
		火葬時間帯における周辺道路への影響があるか	3
	⑥周辺道路への影響	施設進入路付近に民家などが存在するか	3
		⑦生活圏の近接度	10軒以上の民家が集まる場所までの距離
	⑧廃棄物・汚泥処理施設の有無	一般・産業廃棄物や汚泥処理施設が1km圏内に存在するか	3
建設および維持管理のコストを考慮した火葬場	⑨インフラ整備費用	建設に係るインフラ整備費用	9 ※1
	⑩用地取得費用	用地取得に係る費用	
	⑪除雪費用	施設までの新たな除雪費用	
ユニバーサルデザインに配慮した火葬場	⑫利用者の利便性	市中心部からの所要時間（最も利用の多い地域の利便性を重視）	3
省エネルギー対策など自然環境に配慮した火葬場	⑬エコ技術採用の可能性	地形を活かしたエコ技術の活用が期待できるか	3
	⑭自然環境への影響	敷地面積確保のための開発が必要か	3
評価点数			54

※1 コスト比較については、それぞれの概算金額を100万円単位で四捨五入した合計額を比較。最高額を1点とし、最低額を9点として点数化した。

※適さない要件 ①防災上の課題がある場所 ②市街地から離れた場所（市役所を中心として半径5km圏外） ③風致地区など開発の規制がある場所 ④故人を見送る施設との隣接を避けた方がよいと考えられる施設がある場所 ⑤病院などからよく見える場所 ⑥近隣（100m以内）に住宅や観光施設などがある場所

書で回答してまいりました。

説明会では、進入路の考え方や急勾配である現道の降雪時の対策、道

路などのコスト積算の精度、高圧線の規制など、多くのご質問をいただきましたので、検討結果を昨年12月に市議会の総務厚生委員会へ、1月には地域の皆様を対象とした説明会を開催しご報告しました。その報告内容は次のとおりです。

図中左側の②は、現道の登り口付近から洪草団地側に大きく迂回する進入路を検討したものです。進入路の平均勾配は約11.9%、道路法面の面積が多くなることや森林伐採面積も多くなってしまうことなどから、これも現実的ではないと判断しました。

質問に対する検討経過

① 進入路の検討

現道の進入路は、最高勾配が13%を超える急勾配なため、どれだけでも緩やかにすること、また、公園利用者との動線の区分を考え、現道とは別の進入路を【図1】のとおり検討しました。

図中①の進入路は飛驒高山高校の道路向かいからの進入路を検討したものです。進入路の平均勾配は約11.4%、斜面が急なため法面が多く必要となり、公園の北側部分を大きく削らなければならなくなること、更に工事費が大幅に高くなることなどから、現実的ではないと判断しました。

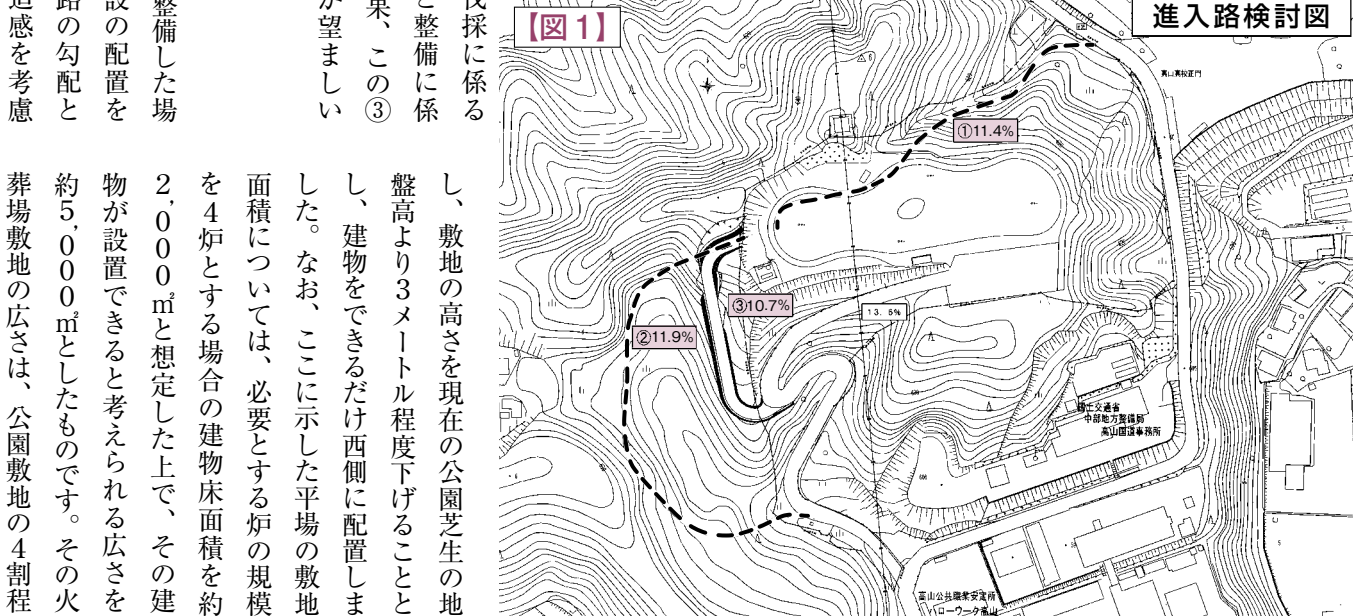
次に③の進入路ですが、公園に上がっていく現道の途中から、公園の西側隣地に迂回するもので、平均勾配は約10.7%となります。

現道を除き、考えられる進入路の中では、森林伐採に係る環境への配慮や道路勾配と整備に係るコストなどを勘案した結果、この③の公園西側進入路の新設が望ましいと考えました。

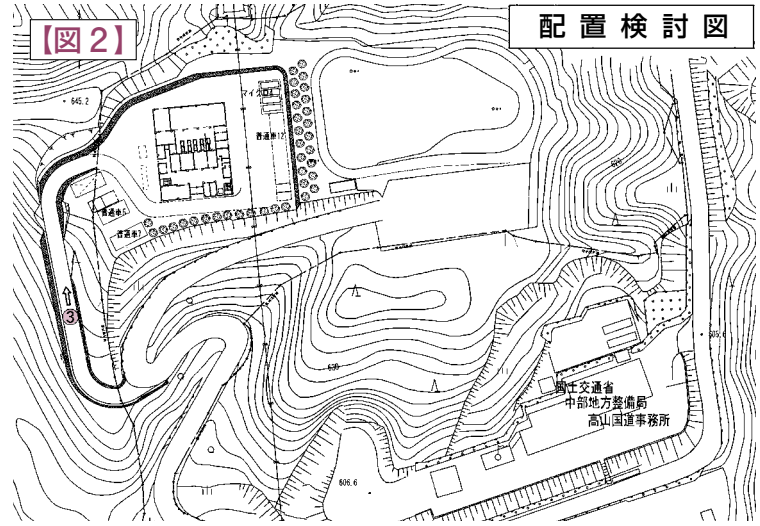
② 配置の検討

【図2】は、③の進入路を整備した場合に考えられる火葬場施設の配置を検討した図面です。進入路の勾配と建物の公園側に対する圧迫感を考慮

し、敷地の高さを現在の公園芝生の地盤高より3メートル程度下げることとし、建物をできるだけ西側に配置しました。なお、ここに示した平場の敷地面積については、必要とする炉の規模を4炉とする場合の建物床面積を約2,000㎡と想定した上で、その建物が設置できると考えられる広さを約5,000㎡としたものです。その火葬場敷地の広さは、公園敷地の4割程



度を占めることとなりました。



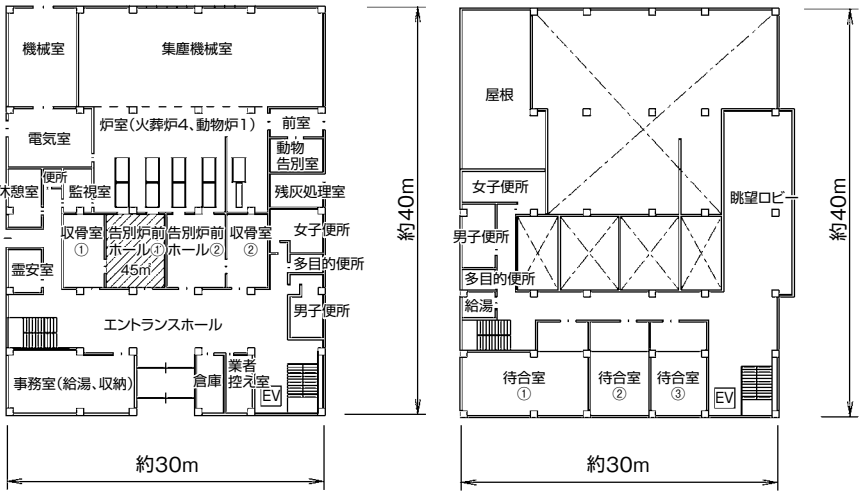
③ 施設イメージの検討

【図3】は、敷地面積を約5,000㎡と想定し、スカイパーク一部(西側部分)の敷地内に収まるよう検討した施設のイメージです。

まず【図3】左上の1階イメージでは、間取りの中央部分から上はほとんど炉室と集塵機械室で占められることとなります。通常の場合、集塵機械室は炉室の上階に設置しますが、そう

【図3】

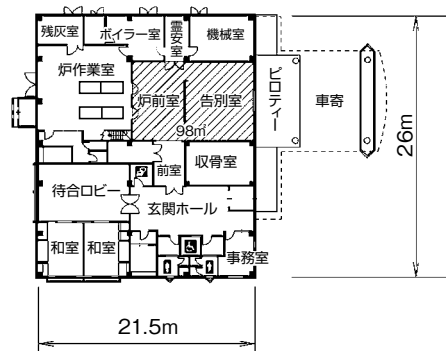
施設イメージ図



1階イメージ
床面積 約1,200㎡
告别炉前ホール 約45㎡

2階イメージ
床面積 約600㎡

【参考】
久々野火葬場1階平面図
床面積 約564㎡
炉前室+告别室 約98㎡



すると建物の高さが13~14m必要になります。この区域には、建築物の高さ

について最高限度を10mとする里山景観重点区域での制限があるため、炉室

の上階に集塵機械室を積むことができず、炉室の後ろ側へ集塵機械室を設置することとなります。そのため、ス

カイパークの候補地においては1階の間取りに集塵機械室のスペースが余

分に必要となります。

このことを考慮して間取りを想定してみますと、火葬施設で最も重要なお別れの場である告别室と炉前ホ

ールは兼用とせざるを得ず、居室の床面積としては狭くなります。参考まで

に【図3】下段に現在の久々野火葬場の告别室と炉前ホールの面積を斜線で図示していますが、同じ2炉分とし

④ 再評価の実施

次に、インフラ整備の方法などによって比較評価の結果が変わってくるのではないかというご質問に対して検討を行いました。当初の評価では一律の概算単価で費用を算出していましたが、今回、各候補地において進入路や造成内容を具体的に想定したうえで、再評価を実施しました。

以上が具体的な施設のイメージを想定して検討した結果です。

て、久々野火葬場に比べて約半分程度の面積となります。そのため火葬施設として一般的に必要とされる十分な広さの確保が困難な状況となっています。また、玄関先にマイクロバスが転回できるロータリーを設置することが難しく、マイクロバスは切り返して戻るようなことが必要な状況となりました。

【表3】の再評価表の()は当初の評価点を表しています。比較項目の評

価の配点は、当初の「表1」と同じです。基本方針の「建設および維持管理のコストを考慮した火葬場」でのコス

ト比較は、当初と同じ概算金額の最高額から最低額までを9区分とし配点したものです。

候補地	基本方針					54点	100点満点換算	順位
	故人との最後の別れのセレモニーにふさわしい火葬場	近隣住民の生活環境に配慮した火葬場	建設および維持管理のコストを考慮した火葬場	省エネルギー対策など自然環境に配慮した火葬場	ユニバーサルデザインに配慮した火葬場			
1 松倉町地内林道宮・高山線沿い	16	16	4	1	3	40	74	6
2 越後町地内市道越後松倉線北側200m付近	15	13	6(9)	2	4(6)	40(45)	74(83)	6(3)
3 下切町地内上野浄水場付近	11	14	9	2	5	41	76	4
4 新宮町地内旧原山市民スキー場グレンデ	15	10	9	2	5	41	76	4
5 新宮町地内県生活技術研究所南側付近	10	11	8(7)	2	3	34(33)	63(61)	10(11)
6 松之木町地内ひょうたん池隣接地	15	15	2(5)	1	2(3)	35(39)	65(72)	9(8)
7 大岡町地内大ハグラウンド北側500m付近	12	10	1(7)	2	4	29(35)	54(65)	11(10)
8 片野町3丁目地内市道石浦大洞線北側400m付近	14	15	8(6)	2	3	42(40)	78(74)	3(6)
9 上岡本町7丁目地内スカイパーク一部(西側部分)	18	14	5(8)	3	4(6)	44(49)	81(91)	2(1)
10 国府町瓜巢地内寿美峠頂上北側付近	15	18	7	2	4	46	85	1(2)
11 国府町瓜巢地内寿美峠頂上南側付近	15	17	2(1)	2	3	39(38)	72(70)	8(9)

スカイパーク一部(西側部分)のコスト比較について評

点が変わった点は、地盤を3メートル低くしたことによる造成工事と道路融雪工事分での増額、高圧線下の地役権変更に伴う経費の増額、50年間の除雪費用を融雪装置の電気料金で見込んだことによる増額で、全体的に大幅な増額となり、評価点が8点から5点に下がりました。

また、「省エネルギー対策など自然環境に配慮した火葬場」の評価では、進入路の建設のために森林部を開発することになり、自然環境への影響の面で、評価点が6点から4点に下がっています。

一方、他の候補地における進入路および敷地の造成に伴う自然環境への影響についても、それぞれ減点となりました。

以上のように再評価を実施

したところ、他の候補地でも評点が変わりました。スカイパーク一部(西側部分)は81点で2位、寿美峠頂上北側付近が85点で1位、片野町3丁目地内が78点で3位となり、以下「表3」のとおりです。想定する整備内容によって金額が増減し、評価に変動が生じることとなりました。

検討結果および今後の進め方

今日まで市議会ならびに市民の皆様へ説明してきました火葬場施設の想定する規模「敷地面積約5,000㎡、建物面積約2,000㎡」で、スカイパーク一部(西側部分)に施設を当てはめて検討したところ、次の2点の結果が明らかになりました。

- 想定していた敷地面積(約5,000㎡)では、十分な施設面積が確保できないこと。
- 進入路などの整備内容によって評価結果が異なるということ。

こうした状況を踏まえ、新火葬場の最終候補地を現在のままとするか、変更するかも含め、市議会や市民の皆様からのご意見を伺いながら検討を進めていくこととします。

新火葬場市民説明会の開催

市民の皆様へ新火葬場最終候補地の検討経過を報告し、ご意見を伺うため、市民説明会を開催します。

期日 2月22日(月)

時間 午後7時～

場所 市民文化会館311講堂
(昭和町1)

※事前申込不要です。直接ご来場ください。

ご意見やご提案をお寄せください

新火葬場候補地に関する、ご意見やご提案をお寄せください。

提出先・方法

市民課窓口・TEL FAX MAIL

申込先 市民課
TEL 35-3003 FAX 35-3164
Mail: shimin@city.takayama.lg.jp
1001404